

ノコギリヒラタムシ

分類 鞘翅目ホソヒラタムシ科

学名 *Oryzaephilus surinamensis*

英名 Saw-toothed grain beetle



■解説^{2) 3) 5)}

本種の成虫は、前胸背板の両側縁に鋸のような歯状突起を持つのが特徴であり、これが名前の由来となっている。食性が広く、貯蔵穀物、穀粉の他に菓子、乾燥果実等の加工食品などを加害する。本種は、齧る力が弱いことから健全な穀粒を加害することができず、メイガ類などの他の害虫に加害された後に生じる穀粉を食餌とする。乾燥や低温に対する抵抗力が強く、冬でも温度が高ければ、休眠せずに活動する。

本種は、飛翔能力を有するが、めったに飛ぶことはない。

■体長

卵 : $0.77 \pm 0.04 \times 0.24 \pm 0.01 \text{mm}$ ¹⁾

幼虫 : 4~5mm (4 齢)²⁾

蛹 : 体長 2mm 前後³⁾

成虫 : 2.5~3.5mm³⁾

■産卵数⁴⁾

産卵数/生涯 : <370 卵

産卵数/1 日 : 6~10 卵

■ライフサイクル

卵~成虫 : 20~80 日 (18°C~37°C)⁴⁾

成虫 : >6 ヶ月⁵⁾

■発育零点 (発育停止温度)

21°C

【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. : J.Kansas.Entomol.Soc., 47(3), 308 (1974)
- 2) 安富和男, 梅谷献二 : 衛生害虫と衣食住の害虫, p.310, 全国農村教育協会 (1983)
- 3) 原田豊秋 : 食糧害虫の生態と防除, p.526, 光琳 (1984)
- 4) C.P.Haines et al. : Insects and Arachnids of Tropical Stored Products Their Biology and Identification (A Training Manual), p.273, Storage Department Tropical Development and Research Institute, UK.
- 5) 松崎沙和子, 武衛和雄 : 都市害虫百科, p.236, 朝倉書店 (1993)
- 6) 佐藤 仁彦 : 生活害虫の事典, p.44, 株式会社朝倉書店 (2003)